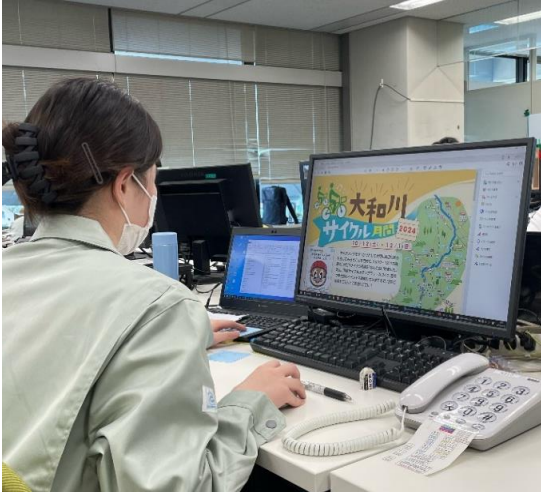


自治体名	奈良県		 [県庁本庁舎]	
連絡先				
試験担当課	奈良県人事委員会事務局任用給与課			
所在地	〒630-8133 奈良市大安寺1丁目23-2 奈良県キャリアサクセスヴィレッジ3階			
電話番号	0742-81-8033			
ホームページURL	https://www3.pref.nara.jp/narakensaiyou/			
自治体紹介				
特徴・魅力はここ！	奈良県は、わが国発祥の地であり、3つもの世界遺産に恵まれ、歴史も自然も豊かな上に、大都市にも近いという利便性もあります。 こうした素晴らしい潜在力を活かすため、社会や経済の変化に対応して変えるべきところは変え、先人が守り抜きそして後世に伝えていくべき貴重な遺産や伝統は全力で守り、奈良県をあらゆる面で発展させていきます。 【奈良県が特に力を入れているインフラ整備のプロジェクト】 <紀伊半島アンカールートの整備> 奈良県では、「道路整備基本計画」を策定し、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけて、その重点的な整備を推進しています。とりわけ、県南部地域を横断する国道168号や国道169号などについては、「紀伊半島アンカールート」と名付けて、防災機能向上や地域活性化、さらには近い将来に発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応力強化を図るため、国と県で連携して早期整備に取り組んでいます。 <大和川流域の総合治水対策> 昭和57年の大和川大水害を契機とする大和川流域の総合治水対策については、「ながす・ためる・ひかえる」対策の3本柱で進めています。激甚化・頻発化する災害から県民の生活を守るため、河川改修だけでなく、ソフト・ハードの両面から対策に取り組んでおり、近年は市町と連携し、降った雨を川に流れ込む前に一時的にためる貯留施設の整備にも力を入れています。 <ならの道 リフレッシュ プロジェクト> 奈良県の道路整備率は全国の都道府県で最下位となっており、道路環境も良くないと言われています。とりわけ、舗装の修繕を求める声を多数頂いています。このため、令和6年度から令和10年度の5カ年度において、予算を集中的に投入し、道路利用者の皆さんに安全で快適な道路空間を提供するべく取り組んでいます。さらに、ドライブレコーダー画像やSNSの活用による道路異常箇所の早期発見・補修といった道路管理のDX化にも取り組んでいます。 <ぬくもりあふれる公園プロジェクト> 奈良県では県営都市公園を「こどもや子育て世代をはじめとした全ての世代にやさしい公園」にするため、令和6年度からの5年間で園路のバリアフリー化やトイレの洋式化、授乳施設の設置を進めています。 Youtubeで動画を公開中ですので、ぜひご覧ください 【土木職員の働く様子を動画にしました！】 (https://www.youtube.com/watch?v=cC8qjp26TvA) 【奈良県庁紹介動画もあります！】 (https://www.youtube.com/watch?v=M6ZumvhXAw4)  			
	職員数	一般行政部門：3,294人 うち土木職員：342人（令和6年4月現在）		

自治体名		奈良県	
先輩職員紹介			
採用年度	令和4年度		
奈良県の職員になった理由	奈良県の職員になった理由は主に3つです。 ①大学で4年間土木を学んでいたこともあり、せっかくなら学んだ知識を幅広く活かしたい ②生まれ育った奈良に貢献したい ③奈良が好き		
1日のスケジュール(例)	《道路マネジメント課の場合》 8:30 始業 8:30～9:30 メールチェック・対応 9:30～12:00 国への申請書類の作成、提出 13:00～14:00 市町村・他府県との調整 14:00～17:15 協議会資料作成 17:30 退庁		
仕事のやりがい	私は入庁して3年間、出先の五條土木事務所に所属し、道路や河川といったインフラの維持修繕・改良工事を行いました。さまざまな工事に携わりましたが、中でも災害復旧事業は強く印象に残っています。 入庁2年目の6月、至る所で台風による災害が発生し、自然の恐ろしさを目の当たりにしました。初めての出来事で不安もありましたが、職員と建設業者が一丸となって災害対応にあたり、地域住民の方々の協力も得ながら、無事に工事を完成させることができた時は、大きな達成感を得られました。先輩や上司からの「お疲れ様」や住民の方々からの「ありがとう」という言葉がとても嬉しかったです。 現在は道路マネジメント課に所属し、自転車施策の予算執行管理などに携わっています。私自身、自転車施策に携わるのは初めてですが、初めてだからこそ得られる気づきを大切にしながら、日々の業務に取り組んでいます。		
受験者へメッセージ	近年は女性土木職員も増え、男女関係なく働きやすいです。また、土木職員のみの研修もあり、たて・よこの繋がりができ、日々の業務でわからないことなど相談しやすい環境です。 人の役に立ちたい方、インフラ整備で奈良県をよりよいまちにしたい方、是非一緒に働きましょう。		
先輩職員紹介		 	
採用年度	令和4年度		
奈良県の職員になった理由	私は生まれも育ちも奈良県で、地元貢献したいと考えていました。また新幹線が通っておらず、空港もない環境の奈良県に関して、インフラ分野に可能性を感じていました。公務員は、構想企画・計画・予算確保・調査設計・用地交渉・工事・維持管理といったインフラ整備のすべてのプロセスに携わることができるため、様々な経験をしたい私に向いていると考え、志望しました。		
1日のスケジュール(例)	《奈良土木事務所の場合》 8:30 始業 8:30～ 9:00 メールチェック・対応 9:00～10:00 地元要望対応 10:00～11:00 設計コンサルタントとの打合せ 11:00～12:00 事務所内での打合せ 13:00～16:00 現場立会（工事の施工状況確認） 16:00～17:15 発注資料作成 17:15 退庁		
仕事のやりがい	入庁してから3年間は本庁の県土マネジメント部総務課で勤務していました。総務課での担当業務で印象に残っているのは、防災計画の作成です。防災計画は、県民の生命・財産を災害から守るため災害予防や災害復旧に関して、処理すべき業務をあらかじめ定めておくものです。奈良県の道路や河川などの実情に沿った予防計画、復旧計画を作成するためには、幅広い知識が必要となり難しかったですが、県民の生命・財産に直結していると感じられるやりがいのある仕事でした。 現在は、奈良市にある奈良土木事務所に所属しています。県民の生命を守るため、利便性を高めるため、工事実施が決定した箇所について発注を行い、工事の進捗管理を行う監督業務を行っています。通学路の歩道拡幅や、奈良公園周辺歩道の点字ブロック設置など、県民のみなさんの快適な暮らしに貢献できていると実感しています。		
受験者へメッセージ	奈良県の土木職員は、女性が増えており、男女関係なく働きやすい環境です。また、近年はWell-beingな働き方が浸透してきており、フレックス勤務により週休3日制が可能であったり、在宅勤務をすることもできます。また、入庁してからの研修が充実しており、日々成長を感じることができます。奈良県の発展をインフラ整備の面から支えていきませんか。入庁お待ちしております。		

自治体名	奈良県
募集概要	
求める人材・人物像	インフラ整備に少しでも関心があり、奈良県をより良くしたいという思いを持っている人
担当業務の 具体例	【道路、河川、下水道、都市公園などのインフラ整備に関する業務】 土木職で入庁した職員はインフラ整備に関して、企画、計画立案、設計、施工、維持管理といったインフラが完成するまでの一連のプロセスに幅広く携わります。 インフラ整備は行政と建設会社、建設コンサルタント（設計会社）、測量・調査会社などが協力し、それぞれの技術を積み重ねることで実現されますが、公務員は全てのプロセスに主体的に関わることができるのが特徴です。 【配属先と担当業務】 本庁配属の職員は主に企画、計画立案や必要な予算の説明などを行います。県内各地にある土木事務所に配属の職員は主に設計、工事の発注や現場監督業務等を行い、最前線でインフラ整備を担っています。また、完成した橋梁やトンネルなどのメンテナンス（維持管理）を行います。
勤務時間	原則8:30～17:15（休憩時間12:00～13:00）※フレックスタイム制度あり
採用ステップ	○第2次試験（作文試験・適性検査） 11月上旬から12月上旬 ▼ ○第2次試験（個別面接） 11月上旬から12月上旬 ▼ ○最終合格発表 11月中旬から12月中旬 ▼ ○任命権者による意向聴取 ▼ ○採用者の決定
福利・厚生（待遇）	
初任給	令和7年4月1日採用の月給（初任給） …月給222,125円（短大新卒で奈良市内勤務の場合。地域手当を含む。） …月給208,309円（高校新卒で奈良市内勤務の場合。地域手当を含む。） ※職務経験のある方には加算される場合があります。
手当	扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務（時間外）手当、期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）など条件により支給
昇給	年1回
賞与	年2回（6月・12月） 令和6年度実績：年間4.6ヶ月分
休日休暇	原則として土曜日、日曜日、祝日 【休暇一覧】 年次有給休暇、結婚休暇、出産休暇、病気休暇、介護・看護休暇、夏季休暇、ボランティア休暇、育児休業など 【出産・育児に関する休暇等の概要】 - 育児休業：3歳未満の子を養育するために取得可。 取得状況（令和5年度実績）は、女性100%、男性55.0%です。 - 出産休暇：産前産後8週間に取得可。 - 部分休業：小学校3年生まで、1週あたり18時間45分を上限に取得可。 - 子どもの看護休暇：12歳までの子の看護や子の行事参加のため、年5日を上限に取得可。 - 育児時間休暇：1歳3ヶ月未満の子の育児のため、始業・終業時に1日60分を上限に取得可。 - 遅出勤務：子どもの保育所等への送迎で、正規の始業時間までに出勤困難な場合、勤務時間を15分又は30分遅らせることができる。 - 配偶者の出産に伴う休暇：出産時の付添、入院中の世話、出生の届出等のため3日間取得可。 - 男性の育児参加のための休暇：小学校就学前の子の育児のため、妻の出産の日以後1年を経過する日までの期間中に5日の範囲内で取得可。 - 不妊治療休暇：年5日（体外受精等を受ける場合、15日）の範囲内で取得可。
その他福利	○健康管理 定期健康診断（年1回）、健康相談、メンタルヘルスカウンセリングなどの実施 人間ドック受診に対する助成制度もあり ○給付・貸付 病気やけが、出産、災害などに対する給付制度あり ○その他 地方職員共済組合等の宿泊施設優待利用制度あり

自治体名	奈良県
参考情報	
研修	県職員としていち早く活躍できるように研修を実施しています。 ■土木職員向けの研修（土木新規採用職員等育成研修、1級土木施工管理技士資格取得研修、土木工事監督員研修、土木積算研修、CAD操作研修、現場研修など） ■職位基本研修（新規採用職員研修、2年目職員研修、3年目職員研修、係長研修など） ■能力開発研修（Office系ソフト応用、プレゼンテーション、ビジネス交渉術、クレーム対応など）
配属・異動・昇任	【配属・異動について】 年1回提出する自己申告書に記載された本人の希望や適性などを参考に配属先を決定 概ね3年で配置転換あり （採用後の一般的な異動のパターン） ◎採用後、本庁又は出先機関に配属 ↓ ◎概ね3年後、本庁勤務の場合は出先機関へ異動、出先機関勤務の場合は本庁へ異動 ↓ ◎異動先で更に概ね3年後、本人の適性や希望に応じて、本庁または出先機関へ異動 【昇任について】 昇任は、人事評価（職員の能力・業績）、経験年数、適性など総合的に評価して実施 基本的な職制は以下のとおり ◎主事級＞主任主事級＞主査級＞係長級＞課長補佐級＞課長級＞次長級＞部長級
平均勤続年数	17.8年（一般行政職） 令和6年4月1日時点
有給休暇取得日数	14.7日間（令和5年実績）
管理職の女性比率	（令和6年4月時点） ・本庁課長級以上：13.8％ ・本庁課長補佐級以上：20.1％